

## 【北朝鮮問題についての「ダブル凍結案」について考える！！】

どうもゆうです！

さて、

それでやはり今日本で注目されてるのは北朝鮮問題なんだろうと  
思います。

それで特に重要なのが韓国が北朝鮮問題における「ダブル凍結案」  
が推進できるかどうかですよね。

編集後記で！

=====編集後記=====

さてさて、私は今マレーシアにおりまして、  
毎日一玉300円くらいで買える美味しいスイカを食べながら  
日々すごしているわけですが、

浦島太郎にならないように

日本の情報なんかもよくマレーシアから見てたりします。

それでやはり「北朝鮮」という単語がネットで非常に多く使われてるな  
というのは感じます。

北朝鮮からミサイルが東京に飛んでくるというのを  
心配している方が非常に多いというのを感じるのですが

それは未来のことは誰にも分からない、と前置きはするものの、

ただ私が感じる場所としてはロシア大使館とか中国大使館とかが  
東京にはあるのですけども

このような大使館を攻撃してしまうと大問題になるのですけど

東京に核ミサイルが飛んでくるっていう言説は良く見るのですけど

果たして金正恩ってそんなに馬鹿なんだろうか？というのは

海外から見てると感じるんですね。

世界中の大使館が東京には集まっておりまして

私は金正恩の立場に立っても考えるのですが

「東京の特に港区あたりに落としたりとんでもないことになって

うちら米軍・ロシア軍・中国軍の一斉攻撃にあって

一瞬でつぶされるぞ」ってのは

やはり考えると思うんですね。

この辺は私が最近すごい疑問に感じるところです。

それで私は副島先生以外にも田中宇先生の言論は重視してるのですが

田中先生もやはり戦争は今は難しい状態だと書かれていましたよね。

「ダブル凍結」がこれからどうなるか？という問題にもなります。

それで今は北朝鮮とアメリカ側で軍事的に解決するのも

外交で和解するのも難しいと。

それでトランプなんかはやはりこの前の北朝鮮のミサイルで

ある程度軍産に華を持たせたのだらうとも思います。

トランプなんかは分かりやすいですよ、

最初に「北朝鮮にはやはり攻撃する！」「やっばやめた」

みたいなそういう発言が多いわけでした

これはすごい計画的だろうと思いますよね。

私は彼のやり方を支持するけど、

もうできすぎてるわけでした、トランプも今軍産と戦ってる状況

ではあるのですが

やはり軍産を完全に敵に回すとこれは恐ろしいですから

JFKの二の舞ですから、

華を持たせて軍産を利する行動をとってるように見えます。

ちなみに一部言われてることとしては

以前にもメルマガで書いてるのですが

トランプ大統領の背後はやはりキッシンジャーなわけです。

それで実は同じくキッシンジャーの部下であって

マイケルフリンなんかの部下でもある

ロバート・アインホーン元調整官なんかは北朝鮮と

非公式に接触を行ってきてるわけですね。

それでトランプ大統領と金正恩の関係ですが

以前はトランプ大統領が「金をアメリカに招いてハンバーグを

食わせてやりたい」なんて発言していたわけでした

またその後「あいつはスマートガイだ(頭が良い)」みたいな発言も  
トランプはしてるわけです。

それで北朝鮮のミサイル発射や核実験についてはこれは  
実際のところ、トランプ・キッシンジャー、金正恩がつながってる  
なんてのも言われていまして

私は実際そうなんだろうと見ていまして  
これに加計学園問題なんかで今追い込まれてる安倍首相なんかが  
まさに国内問題を対外で逸らす目的で利害一致してるだろうな  
なんて構図は薄々感じるわけです。

だから最近では北朝鮮のミサイル発射というのはどうも  
トランプとキッシンジャー博士との指示というか相談を通じて  
それがあって、されてるのだろう、という説が実は  
後ろで分析者の間で言われてるわけですね。

ちなみに面白いのがこれは偶然？とは思えないくらいで  
9月5日にですね、トランプ大統領が自分のツイッターで  
「日本と韓国がアメリカから高性能の軍事装備を大量購入

することを認めるよ！（買いなさい、の意味が入ってる）」

というのが投稿されておりますが

ここでアメリカの昨日書いたようなロッキー○マーチン

の株価なんてのはこれ最長で見るともう超高値付近にあるんですけど

おそらくチャートみると

8月28日前後にもう情報は漏れていたんだらうな

というのは感じます。

9月5日のトランプ発言は買いが終わった後に

明らかにされてると見えまして

ここで兵器費消をさせて

軍産に相当華を持たせていると。

ちなみにネットで投資をやってる人たちはなんか

これ気づいているみたいで

金がミサイル打ち上げたら、次はトランプが発言して

相場を動かすんだけど

「これ出来レースじゃね??」ってやはり気づいてるんですよ。

私の場合は上記情報を色々取って分析してるけど

やはりここは投資家さんたちの勘というんでしょうか、  
その鋭さがあるわけです。

だからもう投資とかで稼いでる人たちは今は  
「トランプ、早く金に打たせろ！ショート入れるから」  
とか話してたりするんですけど

投資やってる人たちってのは不思議とこの構造が  
相場の動きから見えてたりするのがこれ面白い。

ただ1つの見かたとして、以前私が米中協調体制が進んでいく  
と書いてみんな「本当かな～」なんて思っていたわけですが

実際進んで行ったわけですよ。

これは驚いた読者も結構いたみたいですが、

実のところキッシンジャーの思惑を分析して  
当時分かったんです。

やはりキッシンジャーの思惑が今の世界では大事でして  
特に上に書いたようにキッシンジャーは今まで忍者外交を  
進めてきた経緯はあります。

これはマスコミで報道はされておりませんが

トランプ大統領およびキッシンジャーが5月8日から  
10日まである種のオスロ秘密会合、みたいなものを行ってまして、

ここである種の合意が形成されてる可能性がありまして  
ここで「北朝鮮を核保有国として認める」という話も  
出てきているという話がありますよね。

ここで一気に米朝和平が進むシナリオですが

これはキッシンジャー氏の部下のジョン・ボルトン元国連大使  
を団長とした学者グループ8人が5月8日～10日まで  
実はノルウェーの首都オスロで北朝鮮外務省の

以前も書いた北朝鮮外務省「チェ・ソンヒ」米州局長  
と会って会合をしてるんです。

これは日本のマスコミも情報としてつかんでるはずなんだけど  
ただこれを報道したら今の「JALERT」とかで北朝鮮脅威使って  
ショックドクトリンで日本の社会統制進めるっていう

扇動が達成できませんからあえて報道していないんでしょうけど

やはりこの秘密会合は重要です。



この「米朝和平」をなるべく早く、できれば年内に実現したい  
というのがトランプ・キッシンジャーの思惑としてあると  
思われまして、

やはりそのために軍産は障害になりますから  
今回のように軍産に華を持たせるという動きがどうも  
時々見えるんですね。

それでトランプとしてもそれは重要と考えますから  
軍産に華を持たせるために日韓に兵器買わせることを  
これは半ば強要するわけですが、

軍産はそうでもしないとやはり暴走しやすいところですから  
トランプがうまくこういう危機演出をして、

結果兵器を買わせるということになってるんだらうと  
見えます。

ちなみにトランプ、キッシンジャーの  
米朝和平スキームがうまく進めば・・・

の話ですが

やはり

手順としてまず

■1番は

北朝鮮を「核保有国」として認める

■2番は核兵器不拡散条約で実質戦勝国の

アメリカ、ロシア、イギリス、フランス、中国等の5カ国が

入ってるんだけど、ここに北朝鮮を加盟させる

■3番はこの核兵器不拡散条約=NPT に北朝鮮を

加盟させると同時に

米朝平和友好条約を締結してしまって

核軍縮の話をする

このような流れなんだろうと。

■それで4番目としてこれを実現するためにアメリカなんかは

韓国に配備してるサードミサイルをアメリカに戻す

---

ということが必要になります。

ただ金正恩としてはアメリカの内部で

トランプ VS 軍産の戦いがあるって、やはり軍産側が

有利に政治的になることによって自分たちが

これ殺されることも考えますからね、やはり疑心暗鬼になってる  
という状況もあると思います。

ちなみに最近デニスロッドマンなんかが北朝鮮向かってますけどね  
あれは私はキッシンジャーの代わりなんだと見てますよね。

民間人を使って非公式に伝えることを伝えてる状況というのが  
本当の政治としてあるんだろうと邪推します。

ちなみに実はトランプが就任してからすぐに  
北朝鮮の「非公式な民間団体」とこれは米朝問題解決のために  
アメリカに訪問させる予定だったんですけど

それはアメリカの軍産に邪魔されて実現されませんでしたから  
今はおそらくまた別の代替戦略に入ってるのだろうと見えます。

なのでこういう背後の動きを私は重視しておりまして  
やはりそれぞれの外交交渉で外務省という言葉が出てくるんですけど

その窓口がある東京をですね、これ、  
今相当高度な交渉を行ってる金正恩たちが

(すなわち、米国内においてトランプと軍産の闘争がある、

という厳しい情勢も理解しながら

キッシンジャーなりとロッドマン通じて

交渉してる金正恩、という図式がある。

しかも複数言語話せる人間です)

果たしていきなし核兵器打ち込むか?? そんなの現実の政治である?

っていうのはちょっと考えるところなんですね。

ちなみにこの辺の分析を日本語でしっかり行ってるのが

田中宇先生でして、

彼なんかは北朝鮮問題の軍事的解決は口だけの

幻想であって

トランプが軍事攻撃する、というたびに

それが不可能だ、と分かってきている、という内容を

書かれていまして、

まさにその通りだと思うんですね。

これはよくよく考えたら当たり前でして

北朝鮮とアメリカなんて軍事力で言えばこれ

誰もが認めるところでしょうけど、

まさに昨日書いたボブサップとミスターオクレの構図ですよ。

ボブサップのアメリカが勝つに決まってる。

だから北朝鮮がアメリカ本土をもし攻撃したら  
(できるのかどうか分かりませんが・・・)

必ず米軍から報復攻撃を受けて、国が滅びます。

北朝鮮がミサイルを開発するのはあくまでも

韓国なんかにサードミサイルなんかが配置されてますけど

また日本韓国に米軍基地があって喉元に刃がある状態で

そこでなんとかアメリカから国をつぶさせないための

抑止力として核を持ってるわけでした

これは北朝鮮サイドからしたらまさに国家安全保障策として  
でしょう。

北朝鮮は以前4月も書いたのですが

「えーい、核兵器発射！ぼち！」なんてやればこれは

自滅するのが明確ですから、実際はアメリカを先制攻撃できません。

また実際の核兵器発射というのはボタンポチッで出来るものでは

ありませんから、

厳密な会議の上でそれが決定されて、実行されるものですから  
これは一時の衝動では核兵器発射なんてできないわけです。

ちなみにこれについて、中国サイドがどう反応してるか？という  
これからの帝国中国はもし、アメリカが北を先制攻撃すれば  
それは 実質中国の領土の一部になっている北朝鮮を  
味方しますが、

もし北がアメリカを先制攻撃したら北には味方しないと  
言ってる訳でして

こんな状態ですと、北が核を打ち込むなんてのは  
極めて非現実的ではなかろうか、と私は思うんですけど

ただ日本のマスコミ見ると「北朝鮮が東京に核を打ってくる！！  
あぶない！！」とやってるらしいです。

これは今の情勢見ていくと、なぜそのように報道するか  
不思議ですよ。

実際は

どうも今の状況だとアメリカも北も先制攻撃が出来ない状況に  
なっているということで

なかなか戦争に発展しづらい状況であるとは言えると思います。

それで重要なのがやはり中国とロシアサイドが共同で提案する

「ダブルでの凍結」になりまして、

1北朝鮮が核ミサイルの開発とか発射するのをやめる

2アメリカは北朝鮮が嫌な米韓合同軍事演習をやめる

このダブル凍結が進むかどうかは今後の焦点ですよ。

北朝鮮は実は日本ではあまり報道されていないけど

これに「YES、私もそれやりたい」

と言ってるんです。

このダブル凍結は英語で

「「ダブル・フリーズ」プラン」とされていて

実は日本のマスコミは故意にどの新聞も報道してないけど

日本だとスポーツニックが報道していた。

<http://www.fxgod.net/a/groups/4571457/4/>

こちらのサイトで、金正恩のもう「ほがらかな」

笑顔満開の写真が使われてますよね？

ロシアと中国が朝鮮半島問題を解決するためのロードマップとして  
このダブル凍結プランをこの前作成してるんです。

ちなみに、昨日ドイツや中国の金塊の話も復習として扱いましたが  
これについてはドイツも賛成しております。

だから大きくは中国もドイツも経済だけじゃなく政治でも  
共同歩調を取ってきています。

それでこの「ダブル凍結プラン」で見えることとしては

「中国の習、ロシアのプーチン、あとは韓国のムンジェイン、  
ドイツのメルケル」

という感じで 明らかにこの4カ国で話し合いがされてるってことです。

ちなみにこの韓国の動きが重要で

私はムンジェイン大統領が大統領になるまでの様子を

韓国まで見に行ったんだけどそこで以下の写真も撮ってますが

(ゆう写真) ムンジェインが演説会場に入ってくる時  
<http://yuhfx1.com/gazou/korea/2017/moonjeinchikai.JPG>  
(これはまあすごい近い距離の写真で撮れた)

(ゆう写真) ムンジェインの最終演説の現地写真  
<http://yuhfx1.com/gazou/korea/2017/moonjein15.JPG>



(ゆう写真) ムンジェインの最終演説の現地写真  
<http://yuhfx1.com/gazou/korea/2017/moonjein17.JPG>

このような至近で見ましたが

まあすごい支持でした。

(ゆう写真) ムンジェイン支持の韓国の方々  
<http://yuhfx1.com/gazou/korea/2017/moonjein22.JPG>

(ゆう写真) ムンジェイン支持の韓国の方々2  
<http://yuhfx1.com/gazou/korea/2017/moonjein21.JPG>

それでもうこれからはやはり韓国で強烈に実際は支持される

ムンジェインが

いかに北朝鮮と交渉できるか、どうか

というのが本当は重要になりますよね。

それが上の

「それで4番目としてこれを実現するためにアメリカなんかは

韓国に配備してるサードミサイルをアメリカに戻す」

という部分にリンクします。

これをムンが進められるかどうかです。

それでトランプは今軍産との激しい交渉の中で  
戦ってるわけですが

トランプ自身は結構ツイートなんか見ても  
金と本当は仲がどうも良いだろうと感じますよね。

4月以降トランプはツイートで金正恩を褒めるツイート  
しちゃったりとか、「やっぱ北と交渉する」とか言ってしまったり  
態度がずいぶん柔らかい発言も見せてます。

ここで8月にダブル凍結案がうまくいきそうな流れもあったんですけど  
これは米韓軍事演習がやはり軍産の利権ですから行われて  
うまくトランプの思惑通り行きませんでした

これは失敗しております。

それで軍産が相当今強いですから、トランプについては  
北としばらく融和できない、という状況になってきています。

ここでまったく今解決策もない状態で、  
アメリカのトランプと金正恩が強硬姿勢の張り合いを  
している状況ではあるのですが  
(ただ内部では実際は和解してるようにも見える)

ここで彼らのある種の演技というんでしょうか、  
それを受けてアメリカ内部でも最近は  
「アメリカ本土を危険にさらしてまで韓国を守る必要があるのか！」  
という声も出てきてるんですね。

ただこの声はおそらくトランプが求めている声でもありまして  
ここで上に書いた  
「北朝鮮を「核保有国」として認める」  
という部分の世論を作れるっていう  
トランプの思惑もおそらくあります。

さらにその世論を利用して「じゃあ在韓米軍は撤退の方向で」  
ともトランプはいえるようになる。

「こんなに危ない国なら核保有国として認めるしかないでしょう」  
というトランプやキッシンジャーの  
アメリカ国内の世論作りの戦略もここで  
感じ取れるのですけど

これを勘案していくとトランプのツイートの意味というのも  
理解できてくるんですね。

それで上のダブル凍結の米韓軍事演習だったり  
さらに書いた「北朝鮮を「核保有国」として認める」  
というシナリオにしてもそうなんですけど

重要なのが在韓米軍をどうするか??という問題になってくる  
わけです。

ここに集約される。

やはりだからこれから韓国のムンジェインがどう動けるか  
というのがもっとも重要になりますよね。

だからどうも私が今年序盤韓国について分析して  
書いてきたムンジェインの背後にキッシンジャーがいるのは  
どうも間違いないというのはこれはほぼほぼ正しかったろうと  
見えています。

ここで米韓軍事演習についてなのですけど  
これはアメリカが凍結を拒否しても、韓国が凍結したい  
と表明すれば、これは凍結できるんですね。

そして、韓国のムンジェイン大統領というのは本質的には  
対米従属から離脱して、そこで北と和解するというところを

言って当選しているわけです。

今はアメリカと北の対立激化が演出される中で

ムンジェインは提案を北に無視されている状態ですが

もしこれからムンジェイン大統領が

「中国とロシアの提案するダブル凍結案」を支持して

そして米韓合同軍事演習を凍結します、とした場合、

ダブル凍結案が実現、およびムンジェインがやりたかった

南北対話の実施につながるんですね。

そしてこれをやると、トランプとキッシンジャーの思惑通り

ことが進むわけです。

だからこれをトランプやキッシンジャーは狙ってると思われま

それでこの米韓合同軍事演習をもし韓国がやめるとなると

それはもう米韓同盟を韓国が否定したという意味になるわけです。

となるとこれは当然北の脅威から韓国を守れなくなる

ということを意味するわけですが

そこでアメリカも憤慨するわけですね。

だから「そんなことを韓国ができるはずがない！」

という見かたが日本では多いはずですよ。

が、今回、アメリカと北の対立で見えたことは

北朝鮮がアメリカ本土まで届く核ミサイルを持ったということが  
確定しますと、

アメリカで「こんなリスクさらしてまで韓国を守る必要がない！」

という世論が出てるように

アメリカは自国をリスクにさらしてでも韓国を守らない

という事態が出てきていると。

いざというときに頼れない同盟国というか、

韓国もアメリカの属国ですから韓国からしたら親分アメリカ

なわけですよ

こうなるともう韓国は自国は自国で守るしかなくなる

わけですね。

それで今のこのキッシンジャーが主導してるであろう

うまーく作られた状況があるんですけど

ムンジェインはこの状況がお膳立てされていますから

「それなら私は中国ロシアの提案するダブル凍結案を支持して

中国ロシアともうまくやっていく」

という発言をできるようになります。

ここでダブル凍結案の米韓軍事演習停止というのを  
いずれムンジェインは必然的にやるだろうというのが  
シナリオのひとつとして見えてきてるのが今の状況ですね。

それで米軍の庇護がない代わりに、北朝鮮のバックと同じ  
中国ロシアが提案するのがダブル凍結案でありますから

ここでアメリカは韓国を守ってくれないんだけど  
中国ロシアが代わりに北朝鮮から守る構図になります。

だから、ムンジェインがロシアに行ってプーチンと会談して  
るのが本当の真相でしょう。

「プーチン氏「北朝鮮問題は圧力だけで解決できず」、韓ロ首脳会談で」

というのが9月6日にロイターで配信されてますが

このムンジェインがプーチンに会いに行ったってのは  
要するに

「裏でキッシンジャーとトランプさんから

中国ロシアの提案するダブル凍結案支持して、

米韓合同軍事演習を停止するまでの流れに持っていくように  
言われてるけど、それは韓国の国益に沿うとも考えるけど  
プーチンさんどうですか？」

という話が、一連の政治条件、情報を分析すると、  
実際は、されたはずですよ。

プーチンの言った

「北朝鮮問題は圧力だけで解決できず」

というのは私ゆうがプーチンの本音を付け加えると

「だからダブル凍結案を使って融和していくのが大事だよな！

ムンジェインも融和したいだろうし」

(そしてキッシンジャー博士もそれを支持してるし)

ということです。

これらの北朝鮮をめぐる強烈な国際関係論というか

国際政治のやり取りが今

アメリカ、北朝鮮、中国、ロシア、韓国、そしてちょっとドイツ  
の6カ国で



行われているということですね。

ただ韓国国内でもこれ、私は見に行ったんだけど  
軍産複合体系列の人らが日本と同じように強いです。

これはホンジュンピョという候補者で  
北朝鮮と融和を進めたいムンジェインと戦っていた候補者です。

これは私も写真を撮りに行った。

(写真) 韓国大統領選挙で 北朝鮮融和のムンジェインと争っていた  
有力だったホンジュンピョ。  
<http://yuhfx1.com/gazou/korea/2017/honjunpyo2.JPG>

この人なんだけど上の画像で音声はあげてませんが  
しゃべり方がもう日本の右翼そのものでした。

それで尊敬する人はC あい A ともつながりが強いと  
噂される、今の韓国の格差原因・大企業支配を作り出してる  
イミョンバク元大統領ですね。

だから私は彼の主張とかも韓国で数ヶ月前に  
韓国語翻訳しながら分析してるんだけど

「この人は間違いなく軍産系列の人である」

と判断しています。

それで韓国大統領選挙では最初

今のムンジェイン大統領と、そしてアンチョルス候補  
が戦っていて、

このどっちが勝ってもうまくいったらうと思いましたが  
アンチョルスが失速したところに出てきたのが

この軍産サイドのホンジュンピョでした。

これがすごい追い上げをしまして、

上の写真の聴衆の数を見れば

ムンジェインほどではないだろうけど切迫していたのが  
分かると思います。

んで、結果としてはムンジェインが大勝したのですが  
韓国人の多くの人たちはムンジェインを支持しますが

ただ今、ムンジェインはこのホンジュンピョの背後に  
対米従属官僚たちがいるのだけど

そこと戦ってるわけですね。

だから韓国内でもムンジェイン大統領がプーチンと会談した

この内容を批判してるのがまさに韓国内の対米従属勢力です。

ただ・・・これは日本と少し違うところがあって

韓国内では最近マスメディアも北朝鮮と融和しようよという

動きは見られまして、

そこがちょっと違いますね。

日本のマスコミはもう外務省官僚の対米従属戦略通りに

報道するじゃないですか？

けど韓国の場合は北朝鮮問題ってあまり深刻に捉えられてなくて

それよりもバラエティー番組だと脱北者の美人が出てきて

北朝鮮について話すという番組が結構放送されてるんですね。

だからムンジェインの北朝鮮に対して融和というのは

それなりに現実的に考える韓国人たちもいるんだろうと思います。

もっというと韓国人たちで私の友人の20代～30代の韓国人の

じいちゃんばあちゃんが北朝鮮にいる、っていう事例も結構あるんです。

だからよく「私のおじいちゃんも北朝鮮にいるの」ということを

教えてくれる韓国人の人とも会います。

38度線で分散される前は同じ朝鮮半島でしたから

いわゆる日本でいえば東京と大阪がある日

別の国に分断されたような

ものですので。

だから韓国の若者のおじいちゃんだったりひいおじいちゃん

ひいおばあちゃんが北朝鮮で今も暮らしてるっていう状況は

あるんです。

だから北朝鮮についての報道のされ方は

日本と韓国ですいぶん違うなってのは韓国にいて感じたことでも

ありますね。

韓国国内の北朝鮮問題の報道は融和的なものが結構放送されてます。

それでムンジェインとしてはやはり韓国内の対米従属勢力が

いまして、彼らが「ムンジェインは北朝鮮のスパイだ」とか

言うわけでまあこれに手を焼くわけですが

この韓国内でのムンジェインの戦いがこれから注目でありまして

ここで中国ロシアのダブル凍結案にムンが進んでいけるかどうか

が今後の注目です。

これ、まだプーチンとムンジェインが会合して3日しか経過していないので  
分かりませんが今後、ムンジェインがダブル凍結案について  
言い出したら、

一気に政治情勢はトランプキッシンジャーの思惑通り動く  
と思われまして、

米韓合同軍事演習停止⇒最終的には在韓米軍撤退  
という流れになると思います。

在韓米軍、在日米軍がいるからこそ

日韓の官僚たちはわがままに振舞えるのだけど

その構図は徐々にこれから崩されていくだろうと私なんかは  
見ているんですね。

北朝鮮脅威をあおって在日米軍の必要性を官僚たちは  
アピールするんだけど、

やはり対米従属を抜けられると困る日韓官僚たちの  
思惑ってのはあるんでしょう。

だからまずはムンジェインがこれから

頑張ってダブル凍結提案に乗ってこれるかどうかが  
注目になります。ダブル凍結案に乗ってこれば

上に書いたサードミサイル問題も必然的に解決に向かいますので。

それでムンがそのように動けば、

トランプ・キッシンジャーの勝利がほぼほぼ確定になりますね。

だから今の情勢を分析すると日本の元々トランプ支持の人たちは

トランプが軍産に負けて傀儡になったという分析をされていますが

私は少しそれはまだ時期尚早な分析だと思っていまして

トランプとキッシンジャーは相当高度な外交戦術を仕掛けてると

見てます。

以前に私はこの辺を理解しなかったのが韓国のパク大統領罷免の

動きも自分で見に行ったのですが

(ゆう写真) パククネ大統領弾劾デモの様子

<http://www.fxgod.net/gazou/picture/korea/2017/kunedemo21.JPG>

ここで「どうもこのパククネ大統領デモの背後にキッシンジャーがいる

ような感じがする」

と書きましたが、それは仮説であっただろうけど

おそらく正しかったろうと思います。

その後 しっかりムンジェインが大統領になって

トランプキッシンジャーの戦略に沿って動いて

3日前にはプーチンと会合して同調してるわけですから。

だから意外にトランプが勢いを弱めていなくて

ツイッターでも元気だったりするのは

この辺の戦略がうまく行ってるからではないかと

私は分析しておりますね。

だからひょっとしたらですけど、上の北朝鮮を核保有国として

認めるというやり方なのか、もしくはいきなりトランプが

北朝鮮を電撃訪問するとかもありえそうですし、

実際の話結構トランプは頑張ってるって私の情報や分析だと

見えるんですね。

だからこのあたりの北朝鮮情報というのは

どれが正しいか分かりませんし私を妄信しなくてもいいんで

色々な視点から日本のみなさまも

見てみて考えることが必要かなって思いました。

とりあえず国際政治では上に書いたようなかけひきが  
強烈に行われてると思いますので

特に韓国のムンジェイン大統領がダブル凍結案について  
どのように動けるか？は注目ですね！

これにムンジェインが就任後始めて動き出したら  
一気に情勢は動きます。

それでは！

ゆう

追伸・・・ちなみにプロバスケットボール選手の  
デニスロッドマンが北朝鮮の金正恩氏と仲が良いわけです。

それで私のメルマガを読んでも人は分かると思いますが  
ロッドマンさんはトランプさんの親書を預かってるんですよ。  
実質、ロッドマンさんは軍産のために身動き取れない  
トランプ大統領の代理人です。

日本のマスコミの人も私でさえ知ってるんだから



本当は気づいてると思いますよ。

外務官僚の方々から圧力あるから書けないだけで。

単に「正恩さんに会いたい！」という軽々しい思いで  
一流プレイヤーのロッドマンは訪朝していないんです。

だからロッドマンは私はキッシンジャーのある種の部下の1人  
という見かたを取りますよね。

実際にロッドマンは6月13日にもピョンヤンを訪問してまして  
トランプ大統領の密書を託してる「はず」です。

「噂」としときます。

ただ軍産たちもこのロッドマンの訪朝というのが  
トランプやキッシンジャーが絡むところだと  
当然諜報機関の情報で分かってるでしょうから  
これはやはり戦いです。

私は日本の安定のためにも米朝国交正常化が行われるべき  
という考え方で今の「実はうまくいってる」米朝関係の修復の動きは  
トランプとキッシンジャーに頑張ってもらいたいと思ってます。

それで上のトランプがロッドマンに密書を渡している

て話は「本当に??」って思うだろうけど

ついこの前もロッドマンが訪朝してますよね。

9月の記事でありました。

そこでロッドマンは以下のように発言してる。

「金正恩は「生涯の親友だ」。

私からしたらトランプ大統領がキムに連絡を取ろうとするのは

可能だと思うんだよね。

トランプが2人での会話に持ち込んで共通の話題をすれば

(二人とも英語を話せるし)

「何か」が起きる可能性はあるよ。

ただ単に「あなたの国やわが国アメリカの言葉、政治、歴史

について話あいましょう」ということで対話をすれば

扉が開く可能性はあるよ」

と言ってるわけです。

「何か」というのは米朝国交正常化のことでしょう。

また、正恩氏について

「彼に会うと、いつも穏やかでニコニコしてる。

家族といるときはなおさら。

戦争が起きる可能性など色々騒がれてるけどさ、

机に向かって座ってる彼は普通の人だよ。

笑って自分の周りとしゃべってれう。それだけだよ。

私は彼を大好きとは言っていない。けど仲良くやれるよう

みんなのために修復を試みたいだけだよ」

と言っている。

この正恩像というのは大事で日本ではなんか恐ろしいイメージの

金正恩の姿が写真として採用されるけど

トランプ大統領の側近であったバノンのブライトバードだと

このロッドマンの訪朝は以下のような普通の顔の、

金の写真が使われてます

[www.breitbart.com/sports/2017/09/06/dennis-rodman-kim-jong-un-lot-cool-things-together/](http://www.breitbart.com/sports/2017/09/06/dennis-rodman-kim-jong-un-lot-cool-things-together/)

元々、ロッドマンは、アメリカのトランプ大統領が

出演、プロデュースしていた「アプレンティス」って番組があつて

そこで数回出演していてそこからトランプの親友なんです。

だからトランプは表では軍産に北朝鮮に対して

批判的なことを言いつつも、

ロッドマン経由でキムと交渉させてるってことなんですよ。

ここでトランプが米朝国交正常化できるのかどうか

というのがこれからのポイントであって、

そのために韓国のムンジェインがダブル凍結案について

前向きに動けるかってのが今後の注目なわけです。

が、ここで軍産の妨害にあいますから、

そこの壮絶な闘争で今の国際政治は動いてるってことですね。

それで日本のマスコミは軍産やそことつながる外務官僚の

傀儡報道機関ですから、上記のような情報、視点は報道しないだろうと

見ております。

PS2・・・んで最初の話に戻りますが、

まさにダブル凍結案を金正恩は支持していて、

そのダブル凍結案ってのは中国ロシアの提案なんですよ。

んでこの情勢で果たして 中国大使館やロシア大使館がある

東京を核爆弾で攻撃するか?? そんなのあるの?

ってのが私が最初に書いた真意です。

まあ世の中に絶対はないから、あれなんですけど

国際情勢分析してるとちょっと日本のマスコミの書くことって

ある意味ぶっこんでるなっちは感じます。

それでは！

ゆう